新城市民病院
病院だより

第15号
新城市民病院広報委員会
新城市字北畑３２－１
Tel 0536-23-7852（総務課）
Fax　0536-22-2850

集団かぜにご注意ください

今シーズンのインフルエンザはピークを過ぎたようですが、市内の小学校ではいまだに集団かぜによる学級閉鎖が発生しています。引き続き体調管理に気をつけましょう。栄養と休息、保温に心掛けましょう。

県内インフルエンザ発生状況

2月21日現在

今月の出前・健康講座

中村医師　in 東郷中学校

2月8日（金）13時10分～

総合内科の中村医師が「未来の医師募集」と題して中学生を対象に講演を行ないました。

この講演をきっかけに、生徒の中から未来の医師が誕生することを楽しみにしています。

綿引院長　in 長篠本郷構造改善センター

2月14日（木）13時30分～

今回の院長講座は、ボランティア団体「つくしんぼうの会」が行っているミニデイサービスにお邪魔しました。会場は女性の方が多く、静脈瘤の話になると自分の足は大丈夫かと一生懸命耳を傾けていらっしゃいました。

影山医師　in 東郷中保育園

2月21日（木）14時～

小児科の影山医師が保育園児とその保護者の方を対象に予防接種のお話などを行いました。手の上手な洗い方の実践指導では、園児の手がしっかり洗われていないところが特殊な光でモニターに映し出され、保護者の方や保育士さんにも正しい手の洗い方について関心を持っていただきました。

天野看護師　in 上平井公民館

2月25日（月）13時～

外来の天野看護師が講師となり、上平井地区の「星の会」の方を対象に認知症のお話や予防体操など実践的な講座を行いました。認知症に対する関心は高く、ご自分の体験談やご質問などが活発に飛び交いました。

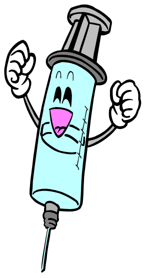
外来通信

このコーナーでは、当院の外来医療部からの情報をお届けします。
今回は眼科から「外来閉鎖のお知らせ」と小児科から「予防接種のお話」についてです。

御迷惑をお掛けします 眼科外来閉鎖のお知らせ

当院の眼科は常勤医師不在のため、週3日午前中に限り非常勤医師による診察を行ってまいりました。
しかし、4月以降はこれ以上の医師確保が困難なため閉鎖させていただきます。
皆さまには御迷惑をお掛けしますが、何とぞ御理解、御協力をお願いいたします。

予防接種のお話



予防接種は簡単に言うと、病原体の毒性を極端に弱めたワクチン液を体内に投与することで抗体をつけて病気になりにくくする方法です。予防接種が先進国での乳幼児死亡率を低下させた最大の功労者であると言っても言い過ぎではありません。

子供の健康を語る上で外すことができない予防接種ですが、「病気になりにくくする」といっても効果の程はピンからキリまであります。「はしか」や「水ぼうそう」の予防接種のように効果が非常に大きいものから、ほかのワクチンと比べ効果が大きくないものもあります。

予防接種の副作用を心配して予防接種を拒否する方もいらっしゃいます。予防接種が原因で重篤な副作用が発生するケースは非常に稀であり、実際に病気にかかって何らかの合併症を起こすリスクの方がはるかに高いと考えられています。

他の先進国と比べ我が国の予防接種行政は大幅に遅れており、「ワクチンで予防できる病気は何が何でも予防接種で予防しよう」というのが世界標準の考え方です。

国内で一般的に普及している予防接種は、とりあえず全て接種することをお勧めします。

予防接種の種類

【公費負担制度があるもの】

- **BCG**
  乳幼児に多い全身型の重症結核を予防します。
- **三種混合**
  破傷風、ジフテリア、百日咳を予防します。
- **ポリオ**
- **麻疹・風疹**
  1歳と就学前の2回接種です。現在小学校2年生以上のお子さんは就学前の2回目接種をしていませんが、今年から5年間中学1年と高校3年での2回目接種が公費で実施される予定です。
- **日本脳炎**
  平成17年から集団接種が中止されていますが、ウイルス自体は国内に広く存在し、今後流行する可能性が心配されています。

【自己負担で接種するもの】

- **水ぼうそう**
  効果の高いワクチンなので、まだ水ぼうそうにかかっていないお子さんは是非接種をお勧めします。
- **おたふくかぜ**
- **B型肝炎**
  母親がウイルスキャリアの場合を除き自己負担による接種となります。
- **インフルエンザ**

新城市民病院ホームページアドレス　http://www.10.ocn.ne.jp~shinhsp/　　新城市民病院メールアドレス　byouin@city.shinshiro.lg.jp